

Koriyama West Weekly Report



第43回例会
No.2816

会長/鈴木 茂 幹事/滝田 吉宏 クラブ広報委員長/濱尾 博文
会報・雑誌小委員長/濱尾 博文 会報・雑誌小委員会副委員長/石橋 理
事務局/〒963-8001 郡山市大町1-2-17 大ビル1階 ☎024-923-0847
例会日/水曜日12:30~13:30 例会場/記憶の森 郡山市山崎305-10

新会員卓話「会社説明」 村上設備工業株 専務取締役 村上博人氏

開会点鐘 国歌斉唱 ロータリーソング「奉仕の理想」斉唱
四つのテスト唱和 鈴木 茂会長挨拶

皆様こんにちは。今日もご参集頂きまして有難うございます。あと1ヶ月で会長の職が解かれます。ちょっと嬉しくなりました。私事ですが、7月上旬、会社の国内部門の表彰式で宮崎に1週間、あと7月後半、国際保険部門の表彰があり、サンディエゴに出張してきます。そうすると、7月は3週間こちらにはいらないという事になりますが、会長が終わったから例会に来なくなつたと言われない様に、今のうちから予防線を張ろうかと思い、この話をしました。残り少ない任期ではありますが、皆様に喜んで頂ける様、例会の設営に努めたいと思いますので宜しくお願ひします。また会員増強においても、まだ頑張ってまして色々お声をかけさせて頂いています。次年度の事も含めてですが、もう暫し皆様のお力添いを頂きたいと思います。

今日は仕事の話をしたいと思います。皆様にもきっと関りのある話かと思いまして、残り少ない例会ですので、お話をさせて頂きます。

会計検査院の方から中小企業の株価について報告がありました。難しい文章で書いてあるので、私なりに読み込んだところで行くと、先ず1つとして、自社株の評価方式はもう少し高くないといけないのではないか?という疑問から始まります。現在の計算方式では純資産価格の27%程となっていて、不当に安く出ていると会計検査院は考えている。で、大きい会社程安く出るこのルールはおかしいのではないか、という事が書いてあります。あと、配当還元方式はそもそもおかしいと書いてあります。仮に会計検査院の指摘通りにならなければ、今までのホールディングスのスキームであったりとか、色々相続対策としてあの手この手でやった事全て無に帰します。全く意味が無くなってしまいます。対策としては、正攻法で行くしかないのかなと思います。会計検査院が独自にやっているというのは大体嘘で、財務省の差し金でこれをやれ、というふうに言われて、それを指摘しているというのを追認させるためにやっている、というのが正しいと思います。となると早めの贈与です。高くなつてからでは大変なので、今のうちに贈与の検討や株を移動するという事を、早めに検討した方が良いのではないかと思います。それで、誰に相談すればいいのかというと、私に相談して下さい。無料で乗ります。

あともう1つ、昨年の税制大綱の検討で、かなり後ろの方に肝心な事が書いてあるという事が税制大綱というものです。第82条7項の所に「相続税及び贈与税に関わる格差が拡大し、固定化している現状に鑑み、税率構造、財産処置との見直しにより、累進課税を強化する事」と書いて



ありました。今、相続税は50%から55%まであるのですが、それを強化するという事は60%もあるのかという話になるのですが、まだ財務省の方は税金を上げるつもりです。これかかなり大変になつてきますのでこちらの方も相談に乗りますので、是非私にご相談下さい。

出席報告 今泉雄二出席小委員長

会員数42名 出席者数26名 欠席者数16名 出席率61.9% 前回修正率61.90% 他クラブ出席者 5/31(土)地区ローターアクト年次大会 森尾和衛会員 6/1(日)地区行事 高橋金一会員 6/2(月)中央分区パストガバナー補佐会 石田弘会員 高橋金一会員



阿部治江会員

伊東孝弥会員 5/29 ケンミンショー!わずか数秒の登場でした。30分も取材されたのにはほカット。失礼しました。土井将照会員 県土地家屋調査士会 会長2期目に選任頂きました。新たな気持ちで頑張ります。関根英樹会員 長嶋茂雄様のご冥福お祈りします。村上さんの卓話楽しみです。高橋晋也会員 卓話楽しみにしています。堀江正喜会員 村上さん、卓話楽しみにしています。鈴木 茂会長 村上さん、楽しいお話期待しています。高橋金一会員 村上さん期待しています。滝田吉宏幹事 森尾和衛会員 村上博人会員 丹生修一郎会員 金田岩光会員 今泉雄二会員 石田 弘会員 阿部治江会員 鈴木功一会員 佐藤克敏会員 濱尾博文会員 乾 敦史会員 桑原正弘会員 七海正克会員 鳴原健太郎会員 柳沼克彦会員



今週のニコニコ大賞 丹生修一郎会員

新会員卓話「会社説明」 村上博人氏

こんにちは。鈴木会長のお誘いを受け入会しました。第一印象としては本当に皆さん優しい方で、尊敬できる先輩方だなと思いました。私はあまりこういった類の会に属さないで、自分で仕事は取れるぞと思っていたタイプでしたが、入会して先輩方の話を聞いて凄く勉強になるなど、今本当に思っています。



当社は、兄が社長、父が会長で、創業48年目で、私は専務です。

これから当社の説明をさせて頂きたいと思います。元々は開成4丁目の大桃工業さんの西隣に当社はありました。私が15才の時に大槻町へ、その5年後に現在の上龜田4-2のビッグハート真裏に移転しました。父は東京でタクシー

の運転手でしたが、ライフラインの仕事の方が良いのではと思ひ地元に戻ってきて、地元の設備屋さんで修業、私の生まれる2年前の1977年に当社を創業、今に至ります。

最初は公共工事をやっている会社の下請けや、漏水修繕工事等細々していました。その後バブル崩壊もあり、元受けさんからもう仕事が安定しない時期が続いて、このままではまずいという事で民間の方にもシフト、その当時は5対5位の割合でやっていました。しかしながら民間が簡単かというとそうでもなく、苦しい状況でした。

私が入社した20年前はこの時代で、入社後2~3年後、私はこのままで当社が存続して行けるのかなと思いました。当時は、設備屋さんは設備屋さんという時代で、設備屋さんは土木屋さんや電気屋さんの仕事はするなと言う、領分が分かれています。私はそれでは本当に生きていけるのかなと思い、何かやらなくては(今もずっと思っているのですが)何かやらなくてはとずっと思っていました。

そんな中で色々な方々と出会って、刺激を受け合いながら、私に何ができるのかと思っていた時、東日本大震災が起こりました。震災復興時、建築業界・建設業界・土木業界は、仕事が多く発注されていましたので、そこで当社は持ち直しまして、他社が忙しくてできなくて回ってきた仕事を、決して断らずにやってきたので、多岐に渡る仕事を受注する事ができました。その後は順調に進んでいたのですが、当社にとっては大きな出来事が起きました。当社の部長がいきなり退社、これはまずいとハローワークや転職サイトにもアクセスしましたが、一級管工事施工管理技士・一級土木施工管理技士といった、各一級の有資格者の求人は難しく、人手不足で大変な時期もありました。

この時期に、民間の大手とは違う当社の強み、魅力とは何だろうと考え、そこで初めて地場の強みというものを勉強し始めました。採用する方の人生が掛かっているので、その人の人生に寄り添い、且つ会社の意見も述べ、win-winなカタチで人材確保に繋がればと思いながら求人を行ってきました。誠意を込めてお話をすると相手も理解してくれて、その結果採用者が増え、この2年半で25名を採用する事ができました。勿論固定費が掛かるようにならった

のですが、受注が来た時に人員不足や技術不足で、仕事を受けれないという悔しい思いを経験しているので、先ずは人材を確保して、当社でやれる仕事を増やして行きましょうという事になりました。

元々は上水道の本管下請けから始まって、排水工事、道路改良工事等をやってきて、その時分譲もできるのではないかと不動産チームも昨年起ち上げて現在8名。そこで中古住宅の再販等、色々できればいいなと、建築士や電気工事をやれる方を採用、当社でできる仕事を増やしています。

郡山市、そして福島県の方が困らない寄り添えるような会社になりたいと思い会社を経営しています。それで Close to your life という、あなたの心によりそいますというスローガンで、今仕事をしています。

村上設備工業という社名ではありますが、卓上に配布致しましたカタログの中にある絵にあるものは、全て仕事として受けておりますので、何かあればご相談して頂ければ幸いと思っています。

事業内容



インフラ事業

半世紀近く、地域の皆様と共に歩んでまいりました。
公共の上下水道及び道路の維持管理を通じ、
皆様の暮らしをこれからも支えます。



R studio事業

皆様の暮らしに寄り添う、
住まいと健康の総合サービス事業。
ひとりひとりのライフステージに合わせて、
共に考え、ご提案いたします。



Close to Your Life

私たちも、あなたの暮らしに寄り添います。

